

ふれあい

平成23年 1月 第298号

大代地区コミュニティ推進協議会
〈広報部〉

事務局：大代地区公民館
☎364-8442

〈掲載目次〉

- 新年あけましておめでとうございます 1
- 防災訓練を終えて 1
- 大代防犯協会より 2
- 第三日曜日は「家庭の日」です 2
- 墓標なき墓参行(三) 2

- 大代の歩み(三十四) 3
- 大代地区公民館地域拠点化計画について(四) 4
- ふれあい短歌・俳句 4
- 大代地区公民館事務補佐員募集のお知らせ 4
- 柏木神社からどんと祭のお知らせ 4

新年あけまして

おめでとうございます

大代地区コミュニティ推進協議会

会長 熱海 五郎

大代地区コミュニティの行事も、一月八日(土)に開催します新年を祝う会をもって二十二年度は終了です。ご参加そしてご協力していただき、誠にありがとうございます。

今年度を振り返ってみますと、大代地区公民館の地域拠点化計画にかかる意見交換会を、市、当局、各種団体、協議会と何度も会議を開催し、区長会の同意を得て管理・運営の受託に向けて進んでおります。

二十四年度には管理運営がスムーズに移行出来るよう、各地区から選出された二名と役員あわせて十三名による管理運営検討委員会を市担当、館長と共に月一回開催しております。

終わりに、二十三年度においても大代地区コミュニティ推進協議会主催行事にご参加、そしてご協力をお願いいたします。

コミュニティ推進協議会役員一同

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 熱海 五郎 |
| 副会長 | 渡辺 正平 |
| 副会長 | 白浜 宣子 |
| 広報部長 | 佐藤 聰子 |

広報副部長 佐藤 洋子

環境美化部長 荒木 慶蔵

環境美化副部長 柴 静夫

体育部長 結城 一志

体育副部長 針生 吉治

コミュニティ推進部長代行

(副部長) 本郷 敏郎

監事 小野 精子

監事 佐藤 捷逸

〈顧問〉

議員 佐藤 恵子

議員 米澤 まき子

大代東区長 三浦 徳男

大代中区長 小野 菊郎

大代西区長 伊藤 要

大代北区長 加藤 渉

大代南区長 橋本 浩

〈事務局〉

局長 角田 三雄

局員 佐々木 民男

書記兼会計 及川 清人

防災訓練を終えて

大代東区長 三浦 徳男

いつも春に実施している訓練ですが、六月に市の総合訓練があり、十月三十一の日曜日に実施したのです。また、今回は消防

署の指導を受けず単独での訓練でした。

市より石ヶ森一号公園を借用して準備をしていましたが、前日の雨のため公園が使用せず集会所に変更しての訓練となりました。当日は、各戸に配っている黄色の旗、これは無事であることの表示であり、その旗の数の確認を行い、各班ごとに決められた避難箇所に集まって班長、副班長さんが先導し集会所まで避難をしました。班長さんは本部に旗を掲げている数と避難した人数を報告します。その後は班長さん全員が救護、物資等の部に所属しているので決められた各部に配置となり部長（主に役員の方）の指示により行動することになります。班長さん方の任務もたいへんです。

今回の訓練で始めて取り入れたのは、通話訓練です。新しくトランシーバー8機を購入したのです。集会所を本部とした時に東区全体を通話が出来ること、有事の際に行政の地区本部となる大代地区公民館と避難場所となる東小学校体育館との通話が出来るとしました。また、炊き出し訓練として豚汁を作り、百個のアルファ米を調達して、お湯と水とでの試食をしました。それに、防災グッズを扱う業者に商品の展示もお願いしました。今回の参加者は、例年どおり百三十名ほどでしたが、通話訓練で、負傷者が出たとの連絡を受け担架による負傷者（ダミー）の搬送や、水消火器の消火、豚汁やアルファ米など配付など積極的に参加するなど今年も実のある訓練になったも

のと自負しているところです。参加した皆さんにご苦勞様でしたと申しあげます。

訓練を終わってこれでもいいのかいつも思う事です。しかし町内会での訓練なのでとくに特別な知識もなく、必要最小限の備品で高度な訓練は出来ないし必要でもないと思っっています。会員がいかに地震等の災害に備え助けあう心構えが必要との考えであり、高い確率で起きる地震に備え、これからも初歩的な訓練を繰り返し行う事が必要ではないかと思っっています。もし実際に被害が起きれば、二日から三日以内には救助の手が来るだろうとの考え方でもありません。

反省として、子ども達の参加もあるが特に中校生に参加を促す事や、高齢者の人達の参加や有事の際の救助をどう行うか、また、水や食糧の備蓄をすることが課題です。

大代防犯協会より

大代防犯協会 会長 伊藤 一郎

地域の皆様、新年あけましておめでとございます。

皆様方におかれましては、御家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は、管内・市内において学校から不審者情報や暗がりでのひったくり被害、家の人がいるにもかかわらず侵入盗が発生しました。また、全国的に悪質商法、悪徳振

り込め詐欺などがまだまだ横行しております。お互い注意しましょう。

私達の防犯協会といたしましても微力ではありますが地域の安心・安全のための環境づくりに活動してまいります。

最後に今年一年が皆様にとって素晴らしい年でありますようにご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

第三日曜日は「家庭の日」です

毎月第三日曜日は「家庭の日」として定められており、家族みんなが顔を揃え、子ども達の健康を願う日です。家族みんなで楽しみながらできることを考えましょう。

墓標なき墓参行(三)

大代南区 後藤 清一

前号からの続き

義秋 “衣兵団の軍規三光作戦は敵軍にも

大変恐れられていた”

亡母 やっぱりそうだったのか。義夫の

部隊が衣兵団と聞いた時から、どうもすかんやった。えんぎの悪い名前だと思っと思った。

義秋

やはり、母親の直感力はすごい。

そんな部隊に配属になったものが、それもその不運の始まりだったのだ。
・・・(絶句)。

私が收容所にいた時、同胞の遺体收容に立ち会った事がある。亡くなった人体は裸にして死体置場に入れられ十体程になると車に積まれ埋葬地に。そこに投げ入れる。飢えと病気で死んだのだから骨と皮ばかり。マイナス四十度中で人体は棒のようになり非常に軽く感じた。收容所の中は暖房など勿論なく極寒の中で体温を保つためお互いに抱き合って寝ていた。翌日には相棒が冷たくなっていたことが何度かあった。当時私は、日本人捕虜の人たちに食事の配分をする役であり、食事といっても塩水に米粒が数粒だけで、大体一人五粒が平均で、多かつたり少なかつたりすると怒鳴り飛ばされていた。シベリアでは六万から七万の邦人が常に飢えと寒さで死んでいったのであるが、その外にもう一つ死んでいった原因があった。それは無氣力になつてしまうこと、毎日毎日伐採作業でタイガの中で外との繋がりがあえるのは遙か彼方に一^{メートル}程の空が見えるだけ。そのような状態の中で過ごしていると、次第に氣力が衰えていき、食べる氣力も喋る氣力も、まして生きる氣力まで無くなつてしま

う。

お袋、他にもこんな話を聞いたよ。お袋も俺も今まで義夫兄を殺したのにはロシア人だと思つていたが、どうもそうでもないらしいよ。捕虜收容所で亡くなったのは間違いがないが、誰がそのような状況に追いやったのか判らなくなつてきた。戦後当時シベリアには六十万以上の抑留者がいた。日本の軍令部はこの六十万人を一度に日本に帰すと日本国内の食料事情が益々悪くなる。四年から五年の間に少しずつ帰すと国内で受け入れる方も助かるのだが、その期間兵隊を労働力として提供する替わりに同胞の衣食住を補償してもらおう。

亡兄

だが、日本の軍令部は当時のソ連にそれが充分に賄える余裕など無いことはよく解つていたはずだ。それが本当なら我々は当時の日本の軍令部に殺されたことになるぞ。

義秋

全くひどい話だ。そんなことがあつていいものか。

亡母

やはり戦争はいかん。戦争が一番の原因たい。これからの日本は戦争は絶対にいかんばい。義秋、孫や子を義夫の様な目にあわせんようにせんといかんなく。

合掌

大代の歩み(三十四)

大代南区 渡邊 巖

藩の軍用金が借財や肝入り頼みとなつた理由は、日本の鎖国継続を許さない国際情勢であるが、その影響がどの様に仙台藩へ及んだのか手短に述べよう。

まず、嘉永六(一八五三)年と安政元(一八五四)年の再度に亘る米国ペリー艦隊の来航で幕府も遂に開国の止むなきに至り、ロシアもまた使節を長崎に送つて開国を要求し、自国船をしばしば我が国の北辺に出現させて幕府を威圧した。

この様な状況から、幕府と諸藩には海防と攘夷、状況によつては対外戦争までも懸念して不安が広がつた。仙台藩も同様な動きの中に巻き込まれていった。

その一つが北辺の警備で、仙台藩は蝦夷地の南部(シラオイ白老)から東部の知床、千島列島のエトロフ島、クナシリ島に至る地域であつた。そして白老に本陣を置き、根室・厚岸・クナシリ・エトロフには出張陣屋を置いた。その陣営の警備には途中で多少の変化はあつても、明治維新を迎えるまで常に三百人ほどの守備兵を送り込んでいたのである。

この長期に亘る警備に藩の財政は困窮の度を増し、藩士の知行・俸祿を削つて藩の経費に充てる借り上げを行い、藩士の窮乏の度を深めたのである。

ところが安政二(一八五五)年四月、アメリカ軍艦が石巻に来航して小型艇で着岸し、人々の眼を惹きつけたので藩は大騒動になった。

黒船来航が他人事ではなくなった藩は、この年から西洋式の軍備充実に乗り出し、年に二隻の様式軍艦の建造計画を立て、安政三(一八五六)年八月に江戸から造船技師を招き、松島湾の寒風沢島で様式軍艦の建造に着手した。

約一年後に進水式を迎えた船は、開成丸と命名された。 続く

大代地区公民館

地域拠点化計画について(四)

大代地区公民館の管理・運営移行へ向けての三回目の検討委員会が、十一月二十九日に開催されました。

今回は、大代地区公民館をこれからもっと良くしていくための必要な施設設備や、どのような人に利用してもらいたいかをグループ形式で話し合いました。

今年最後の検討委員会は十二月二十一日に開催が予定されています。

(十二月二十日現在)

ふれあい俳句

笠神西区 本郷 勝子

出羽の国時雨で急ぐ川下り
涅槃像 お慈悲下され 頭垂れ
出羽の旅 芭蕉偲びつつ 枯すすき
雪かぶり 南天の大実 重たげり
寒月の 螺旋に解ける あの思い出

八幡 森 季子

遠道院 昼の紅葉も訪うてみる
手で掬い 水のむ小猫 冬日和
願いごと 聞く耳もたず 流れ星
ゆきつけの 森に迷いて 枯芭蕉
冬鳥の 視線の彼方 水平線

大代西区 藤田 遊子

(新年特集)

虫食ひの 国旗一本 大旦
初茜 一見が浦の 夫婦岩
初電話 お国訛りの 英会話
掛軸に 番の鶴や お正月
女正月 婦警も母に 戻りけり
寝たきりの 母に一膳 七日粥
横綱の 回し眩しや 初土俵
手習ひの 後期高齢 初句会
翁訪ひし 末の松山 初松籟
親指の バンドエイドや 初茶湯
新妻の 膝の崩れや 歌留多取
置物の 狸のふぐり 初笑

黒髪の 匂ふ参道 初詣
書初の 書家の硯海 波光る

大代地区公民館

事務補佐員募集のお知らせ

業務内容 事務補佐員(夜間勤務あり)

施設の管理、来館者への対応

パソコンを使った受付処理など

勤務時間 週30時間

(指定された週4日。土・日勤務、月数時間の時間外勤務あり。)

給与 月額135,600円

募集人員 1名

対 象 大代在住の男性

申込方法 市販の履歴書により1月21日

(金)まで大代地区公民館まで申

込下さい。後日面接を行います。

詳しい条件等につきましては、大代地区

公民館内事務局までお問い合わせくださ

い。

柏木神社からどんと祭のお知らせ

■日時/一月十四日(金)

■時間/午後五時から六時三十分

■松飾りは当日の朝八時から受付します。

※ビニール・プラスチック等の化学製品は

全て取り除いて納めて下さい。